

事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和 7年 4月 4日

事業所名 放課後等デイサービスZEST町田

職員数6名

※Googleフォームにて回答

	チェック項目	はい			どちらともいえない			職員の意見や工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
		はい	どちらともいえない	いいえ	はい	どちらともいえない	いいえ		
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	1	4	1			・車椅子の置き場に工夫が必要(現状廊下に置いていくが、避難経路を塞いでいないか) ・7人受入時にやや狭い気がします	・避難時の妨げにならないように車椅子の保管場所を検討していく。無理に廊下に置かず、浴室や室内に工夫して置くようにする。 ・お子様一人に必要なスペース	
	② 職員の配置数は適切である	2	1	3			・十分な時とそうでない時があります ・送迎で人手が足りなくなる事が多々ある。足りなくなりそうな場合には無理せず保護者に送迎を頼んでも良いのではないかと感じる。	2025年1月末に1名退職、4月に児童指導員入職予定。送迎の親御様相談に関しては、状況に応じて依頼しており、今後も状況によってはご相談していく。	
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	1	0					
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	1	0					
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	1	0					
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	0					
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	2	2			・第三者による外部評価を受ける機会が無い気がする	2025年3月現在実施していない。今後も実施を検討していく。	
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	0			・毎月何かしらの研修を行っています	年度毎に年間研修計画を作成し実施している。ご利用者への実施報告の方法を検討し実施していく。	
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4	2	0			・職員で会議を密に行い、保護者のニーズお子様の課題等を把握してるとはおもいます		
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	2	1			・指標となる物が無い為、個々の知識や経験則に基づいたアセスメントになっている。その為評価や方針にブレを感じる時もある	規定のアセスメントシートを活用しているが、実施する職員によって意見や評価が異なる場合、策定会議で意見交換をしながら、お子様にあった目標設定に繋げている。	
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っている	2	4	0			・固定の職員に決めてもらっていることが多い。月次MTG等でプログラム内容案を出し合うのはどうか。	プログラムの作成・運用・管理方法を検討していく。	
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	0			・四季に合わせたプログラムを行っている		
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	1	3	2				個別支援計画を基に支援を提供している。利用時間の長短に合わせて、活動と休憩を組み合わせているが、職員毎の判断で考えることが多い。一日のスケジュール作成と職員間の情報共有が事前に出来るように方法を検討していく。	
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	1					
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	0	3	3			・行なっている時と行っていない時がある ・利用者全員参加型の内容がある場合には朝礼で言い合えると嬉しい	個別支援計画を基に支援を提供している。利用時間の長短に合わせて、活動と休憩を組み合わせているが、職員毎の判断で考えることが多い。一日のスケジュール作成と職員間の情報共有が事前に出来るように方法を検討していく。	
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	0	1					
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	1	0					

		チェック項目	はい	どちらとも いえなし	いいえ	職員の意見や工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容 又は改善目標
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	1	0		
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	2	0		終礼時の振り返り等で支援を提供した際のお子様の様子を確認をし、目標達成や変更の必要性を検討している。定期的なモニタリングが実施出来ていないため、期間内に中間モニタリングを行う必要性を今後も検討していく。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	5	1	0		
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	2	1	・担当者会議をほぼ開催していないと思います	外部開催のケース会議に参加はしているが、自社での参画は実施していない。必要に応じて親御様・担当者と連携をとっていく。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	4	1	1	・学校側から保護者とのやり取りを希望されているため、どちらとも言えないが保護者とはしっかりと連絡を取り合っていると感じる。	連絡会や忘れ物管理の連絡をお互いに行っている。送迎時に担任の先生と情報共有を行い、支援の参考にしていく。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5	0	1		
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	1	4	・相談支援や児童発達支援と連絡を取る機会が無いように思います	ご利用者が過去に利用していた事業所との情報共有の実績はない。相談支援事業所や子ども発達支援センターの担当者や情報共有を行っている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0	4	2	・現在該当者無し	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	1	3	・嘱託医からの助言、研修や、他事業所に出向いての研修や見学をしている ・他事業所との交流がない	親御様対応や現在の支援内容、医療的ケアの実施内容等について専門機関に相談し助言をもらっている（相談支援事業所、子ども発達支援センター、嘱託医、他事業所職員）。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	1	5	・他事業所との交流がないと思います。生活介護、老人ホームとの交流はあります ・現在主にはハロウィンでの地域交流しかできていないため、他の季節イベント等で交流を増やしていけると良いのかもしれない。ただ子ども達の体力等も考慮が必要	障害のない子供との関わりの機会を作れていない。外出・来所の機会を通して関わる機会を検討していく。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0	2	4		管理者が町田市福祉協議会、重症心身障がい児を守る会等の会議に参加している。職員も同様に参加できる機会を作る。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	1		
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	3	2		機能訓練の方法を説明したり、支援の中で成功場面や職員の関わりの様子をお伝えしている。親御様の希望される勉強会の内容を伺い、事業所内で共有できる機会を作っていく。

		チェック項目	はい	どちらとも いえなし	いいえ	職員の意見や工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容 又は改善目標
保護者への説明責任等	⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	1	0		
	⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	1	0		
	⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	4	2		2025年3月に虐待防止・身体拘束適正委員会を実施し親御様にもご参加いただいた。親御様の希望される保護者会の内容を伺い、事業所内で共有できる機会を作っていく。
	⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	0		
	⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	1	1	・インスタやHP、SNSなどを活用できている	
	⑮	個人情報に十分注意している	4	2	0	・注意できている部分とできていない部分がある。利用者の写真や動画を撮る時に排泄チェックシート等が写りこんでしまう事が多々あるため、配慮できていけたらと思う。	SNSだけでなく親御様に送付する内容(写真・動画)の取り扱いに注意していく。
	⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	0		
	⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	2	0	・ハロウィンの時周辺住民の方に大変お世話になりました	
非常時等の対応	⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	1	4	1	・現在作成中。今後周知していく ・策定しているが周知していない	各マニュアルは開所時に作成し更新しているが親御さまに周知する機会を作っていなかったため、2025年度開始時に周知していく。
	⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	0		
	⑳	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	1		
	㉑	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	0	0		
	㉒	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	1	0	・医療的ケア児以外の利用者のアレルギーに関して医師の指示書に基づく対応ができていないと感じる。	指示書発行の後に処置内容が変更になった場合は発行元のかかりつけ医に確認を取り、指示書の修正や追記をお願いしている。
	㉓	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	1	・月一回前月のヒヤリハットを共有している	

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。